

## 静岡県との対話状況について

(環境保全有識者会議報告書取りまとめ(2023年12月7日)以降)

## ① 2023年12月19日(火)

【出席者】静岡県 暮らし・環境部環境局 自然保護課 室長ほか  
JR 東海 中央新幹線静岡工事事務所 副所長ほか

【分類】生物多様性

【主な議題】モニタリング計画、静岡県文書(「リニア中央新幹線静岡工区有識者会議(環境保全有識者会議)に対する意見について(令和5年11月1日)」)への対応

## 【主な議論】

- ・国交省有識者会議(環境保全)の報告書の内容を踏まえてJR 東海が作成した今後のモニタリング計画案を示し、対話を行った。
- ・また、令和5年11月1日の静岡県から国交省宛の文書における7つの課題のうち、生物多様性に関する6つの課題(「沢の水生生物への影響予測が行われていない」、「沢の上流域の生物調査が不足している」等)について、対話を行った。
- ・静岡県からは、「今後も議論が必要と考える主な課題について、県専門部会で説明していただきたい」、「沢の上流域の生物調査については、県からもアプローチ可能なルートを情報提供できるか検討したい」との話があった。
- ・JR 東海からは、今後、県専門部会を開催する前には、県専門部会委員から国交省有識者会議(環境保全)の議論の内容等についてご質問があれば、JR 東海から説明を行いたい旨の話をした。

## ② 2023年12月20日(水)

【出席者】静岡県 暮らし・環境部 理事ほか  
交通基盤部河川砂防局 河川企画課 課長ほか  
JR 東海 中央新幹線静岡工事事務所 担当課長ほか

【分類】トンネル発生土

【主な議題】ツバクロ発生土置き場(盛土の安定性、土砂流出シミュレーション)

## 【主な議論】

- ・ツバクロ発生土置き場の安定性及び土砂流出シミュレーション、リスク管理、位置選定について、対話を行った。
- ・静岡県からは、発生土置き場の詳細な設計や解析の条件等を確認していききたいとの話があった。また、発生土置き場のリスクの考え方について、その基礎となる環境影響評価準備書、事後調査報告書に関する知事意見の説明があった。
- ・JR 東海からは、令和5年8月3日の第15回地質構造・水資源部会専門部会にて専門部会委員がご説明された「広域的な複合リスク」等に関する、静岡県のリスクの考え方について、すり合わせを行っていききたい旨の話をした。

③ 2024年1月17日（水）

【出席者】静岡県 くらし・環境部 理事ほか  
J R東海 中央新幹線静岡工事事務所 担当課長ほか

【分類】トンネル発生土

【主な議題】ツバクロ発生土置き場（盛土の安定性、土砂流出シミュレーション）

【主な議論】

- ・ツバクロ発生土置き場の盛土の安定性や土砂流出シミュレーションの条件について、対話を行った。

④ 2024年1月24日（水）

【出席者】静岡県 くらし・環境部環境局 自然保護課 室長ほか  
J R東海 中央新幹線静岡工事事務所 担当課長ほか

【分類】生物多様性

【主な議題】モニタリング計画

【主な議論】

- ・作業内容の深度化や地点の精査を行い更新した沢のモニタリング計画について、対話を行った。また、県専門部会委員からの意見（沢の上流域の調査、工事着手前のモニタリング、重点的な沢の選定等）について、対話を行った。
- ・静岡県からは、モニタリングの内容（方法や地点等）や生物への影響予測については、県専門部会で議論をしておく必要がある、また、沢の上流域へのルートについては、山岳関係者にヒアリングをしている、との話があった。

⑤ 2024年2月13日（火）

【出席者】静岡県 政策推進担当部長  
くらし・環境部 部長、交通基盤部 参事ほか  
J R東海 企画推進部 部長、中央新幹線静岡工事事務所 担当課長ほか

【分類】水資源、生物多様性、トンネル発生土

【主な議題】対話の進め方

【主な議論】

- ・静岡県が、2024年2月5日（月）に公表した資料「リニア中央新幹線整備の環境影響に関するJ R東海との「対話を要する事項」について」の「今後の主な対話項目」（以下、「今後の主な対話項目」という）の対話の進め方について、対話を行った。
- ・J R東海からは、「今後の主な対話項目」について、静岡県の考えを具体的にお伺いしたい、また、県専門部会を開催する前に、調整を十分行わせていただきたい旨の話をした。
- ・静岡県からは、県専門部会委員も含めて調整を行う旨の話があった。

⑥ 2024年2月19日（月）

【出席者】静岡県 暮らし・環境部 理事ほか

J R 東海 中央新幹線静岡工事事務所 所長ほか

【分類】水資源、トンネル発生土

【主な議題】「今後の主な対話項目」（リスクマトリクスとリスクマップ、田代ダム案等）

【主な議論】

- ・「今後の主な対話項目」のうち、水資源と発生土置き場の内容を中心に、静岡県の認識について、対話を行った。リスクマトリクス・リスクマップの整理方法や田代ダム案の取水抑制できない状態が継続する場合の対応について、対話を行った。また、発生土置き場に関して、現状における深層崩壊等のリスクへの考え方や対策について、対話を行った。
- ・静岡県からは、盛土があることにより谷幅が狭まり、洪水時の水位上昇などが、対岸や盛土の侵食を促進することへの懸念について説明があった。
- ・J R 東海からは、「今後の主な対話項目」には、工事着手前に整理する必要がある項目と、トンネル掘削を行いながら整理していく項目があるのではないかとのお話をした。

⑦ 2024年2月22日（木）

【出席者】静岡県 暮らし・環境部 参事ほか

J R 東海 中央新幹線静岡工事事務所 所長ほか

【分類】生物多様性

【主な議題】「今後の主な対話項目」（沢の上流域調査、生物への影響予測等）

【主な議論】

- ・「今後の主な対話項目」のうち、「沢の上流域の調査、予測・評価が適切に実施されていない」とされていること等について、対話を行った。
- ・静岡県からは、次回の生物多様性専門部会の内容について、説明があった。また、沢の上流域へのルートについては、山岳関係者にヒアリングをしている旨の話があった。

⑧ 2024年2月27日（火）

【出席者】静岡県 暮らし・環境部 理事ほか

J R 東海 中央新幹線静岡工事事務所 担当課長ほか

【分類】トンネル発生土

【主な議題】「今後の主な対話項目」（ツバクロ発生土置き場（盛土の安定性、土砂流出シミュレーション））

【主な議論】

- ・「今後の主な対話項目」のうち、ツバクロ発生土置き場の盛土の安定性や土砂流出シミュレーションの条件について、対話を行った。
- ・静岡県からは、現状のJ R 東海のシミュレーションの詳細について、不明な点を確認した上で、県専門部会委員に相談する旨の話があった。

⑨ 2024年3月6日（水）

【出席者】静岡県 暮らし・環境部 参事ほか  
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 地質構造・水資源部会専門部会委員  
J R 東海 中央新幹線静岡工事事務所 所長ほか

【分類】水資源、生物多様性

【主な議題】「今後の主な対話項目」（リスクマトリクスとリスクマップ、高速長尺先進ボーリング等）

【主な議論】

- ・「今後の主な対話項目」のうち、リスクマトリクスとリスクマップの整理方法、上流域モデル（GETFLOWS）により解析できない沢の源流部などの流量変化の予測について、対話を行った。また、山梨県内の高速長尺先進ボーリングの調査結果について、対話を行った。
- ・県専門部会委員から、リスクマトリクスとリスクマップの整理方法について説明があった。
- ・J R 東海からは、整理の仕方が課題であると認識し、必要に応じ、県専門部会委員に相談に乗っていただきたいとの話をした。

⑩ 2024年3月13日（水）

【出席者】静岡県 暮らし・環境部環境局 生活環境課 主幹ほか  
盛土対策課 班長  
J R 東海 中央新幹線静岡工事事務所 係長ほか

【分類】トンネル発生土

【主な議題】「今後の主な対話項目」（藤島発生土置き場）

【主な議論】

- ・「今後の主な対話項目」のうち、藤島発生土置き場への対策土の盛土について、対話を行った。
- ・静岡県からは、「静岡県盛土等の規制に関する条例」や「基準不適合土砂等の盛土等の措置に関する要綱」等の解釈について、説明があった。

⑪ 2024年3月14日（木）

【出席者】静岡県 暮らし・環境部 理事ほか  
JR東海 中央新幹線静岡工事事務所 所長ほか

【分類】水資源、生物多様性

【主な議題】「今後の主な対話項目」（モニタリング計画等）

【主な議論】

- ・「今後の主な対話項目」のうち、モニタリング計画等について、対話を行った。
- ・JR東海からは、流域市町の皆さま等から、水の利用状況や地域の生活・産業の観点からのご意見をいただき、モニタリング地点や項目、計測頻度を更新していくという進め方（別紙1）の説明と、県とは別途相談したい旨の話をした。
- ・静岡県からは、モニタリング計画については、県専門部会委員の意見を確認する必要があるとの話があった。

⑫ 2024年3月26日（火）

【出席者】静岡県 暮らし・環境部 参事ほか  
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 生物多様性部会専門部会委員  
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 地質構造・水資源部会専門部会委員  
JR東海 中央新幹線静岡工事事務所 所長ほか

【分類】生物多様性

【主な議題】「今後の主な対話項目」（生物への影響予測、モニタリング計画等）

【主な議論】

- ・「今後の主な対話項目」のうち、水生生物等（生態系）への影響の予測・評価、水生生物等への影響の回避・低減措置と順応的管理、モニタリング計画の適否について、対話を行った。
- ・静岡県からは、水生生物への影響の具体的な予測・評価方法の考え方について説明があった。また、県が山岳関係者等から聴取した沢の上流域の関係情報が示された。

⑬ 2024年3月27日（水）

【出席者】静岡県 暮らし・環境部 理事ほか

J R 東海 中央新幹線静岡工事事務所 所長ほか

【分類】水資源、生物多様性

【主な議題】高速長尺先進ボーリングの進め方

【主な議論】

- ・ J R 東海の高速長尺先進ボーリングの進め方について、対話を行った。
- ・ J R 東海からは、静岡県側も含めたボーリングの進め方やボーリング湧水の管理、ボーリングに伴い県外流出する湧水の取扱いについて、話をした。
- ・ 静岡県からは、県外流出する湧水の取扱いなどについて、J R 東海と県、流域の関係者間で認識の相違を生じさせないために、文書でのやりとりが必要である旨の話があった。

⑭ 2024年3月28日（木）

【出席者】静岡県 暮らし・環境部 理事ほか

J R 東海 中央新幹線静岡工事事務所 担当課長ほか

【分類】トンネル発生土

【主な議題】「今後の主な対話項目」（ツバクロ発生土置き場（土砂流出シミュレーション））

【主な議論】

- ・ 「今後の主な対話項目」のうち、ツバクロ発生土置き場の土砂流出シミュレーションの条件について、対話を行った。

令和6年3月14日  
中央新幹線静岡工事事務所

## 流域市町等の意見を反映したモニタリング計画の更新について

国土交通省の第1回リニア中央新幹線静岡工区モニタリング会議（令和6年2月29日）にてお示したモニタリング計画をもとに、流域市町の皆さまが実際に水資源を利用される中下流域でのモニタリングの進め方を流域市町等へご説明いたします。

その際、水のご利用状況に関する情報や地域の生活・産業の観点から、モニタリング地点や項目、計測頻度に関するご意見をいただき、これらを踏まえて計画を更新してまいります。

### 【進め方】

#### (1) 水資源利用に関する情報収集

##### 1) 地下水

対象：島田市、焼津市、藤枝市、吉田町、牧之原市

内容：

- ・利用状況（目的、井戸の諸元及び揚水量、水位・水質測定結果の有無）
- ・水利用に係る懸念事項（モニタリングに関するご意見含む）

##### 2) 河川水

対象：各利水団体

内容：

- ・利用状況（取水地点、水質調査及び管理基準等）
- ・水利用に係る懸念事項（モニタリングに関するご意見含む）

※貴県等の測定結果（地下水、河川水）の取扱いについては別途お伺いします。

#### (2) 計画案の作成

- ・上記で収集した情報を踏まえ、モニタリング地点・項目等を更新します。

#### (3) 計画案の意見聴取

- ・流域市町・利水者に対し、(2)で作成したモニタリング計画を説明し、ご意見を伺います。貴県にも内容を報告し、ご確認いただきます。
- ・河川水のみを利用している市町に対しては、利水者との調整の状況についても報告します。

#### (4) 計画案の報告

- ・(3)を踏まえた計画案を、国土交通省モニタリング会議、貴県及び流域市町・利水者に報告します。